

アフリカ開発銀行

Building today,
a better Africa tomorrow



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP

アフリカ開発銀行グループの概要

役割について

アフリカ開発銀行グループ (AfDB) は、1964年に設立され、アフリカ随一の金融機関として、アフリカ地域の加盟国への開発資金の提供、持続可能な経済開発や社会的進歩のための技術支援をしています。

組織について

アフリカ開発銀行グループは、3つの組織、すなわち (1) アフリカ域内加盟国の中所得国及び民間セクターの事業に対し非譲許的な融資などを行うアフリカ開発銀行 (AfDB : African Development Bank)、 (2) アフリカ域内加盟国の低所得国に対して、譲許的資金や無償資金などを提供するアフリカ開発基金 (ADF : African Development Fund)、 (3) ナイジェリア政府との合意により設立されたナイジェリア信託基金 (NTF : Nigeria Trust Fund) から成り立っています。



アキンウミ・アデシナ
アフリカ開発銀行グループ総裁

加盟国について

2018年12月末現在、54のアフリカ域内国と26のアフリカ域外国の合計80の加盟国がアフリカ開発銀行に出資しています。出資比率上位国は、ナイジェリア (9.4%)、アメリカ (6.7%)、エジプト (5.7%)、日本 (5.6%)、南アフリカ (5.1%) です。



アフリカ開発銀行本部
(コートジボワール、アビジャン)

本部・拠点について

アフリカ開発銀行の本部はコートジボワールのアビジャンにあります。2018年12月現在、アフリカ域内には41か国に事務所があります。また、アフリカ大陸以外にはアジア代表事務所が東京にあります。

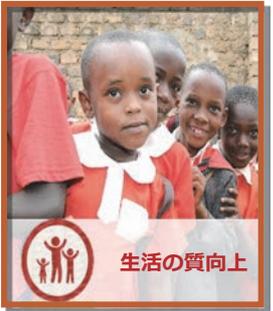
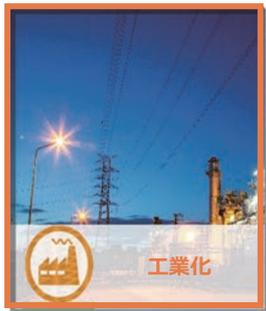


アフリカ開発銀行グループ第55回年次総会 (2019年6月赤道ギニア共和国にて開催)

長期戦略 2013-2022とHigh 5s (ハイ・ファイブズ)

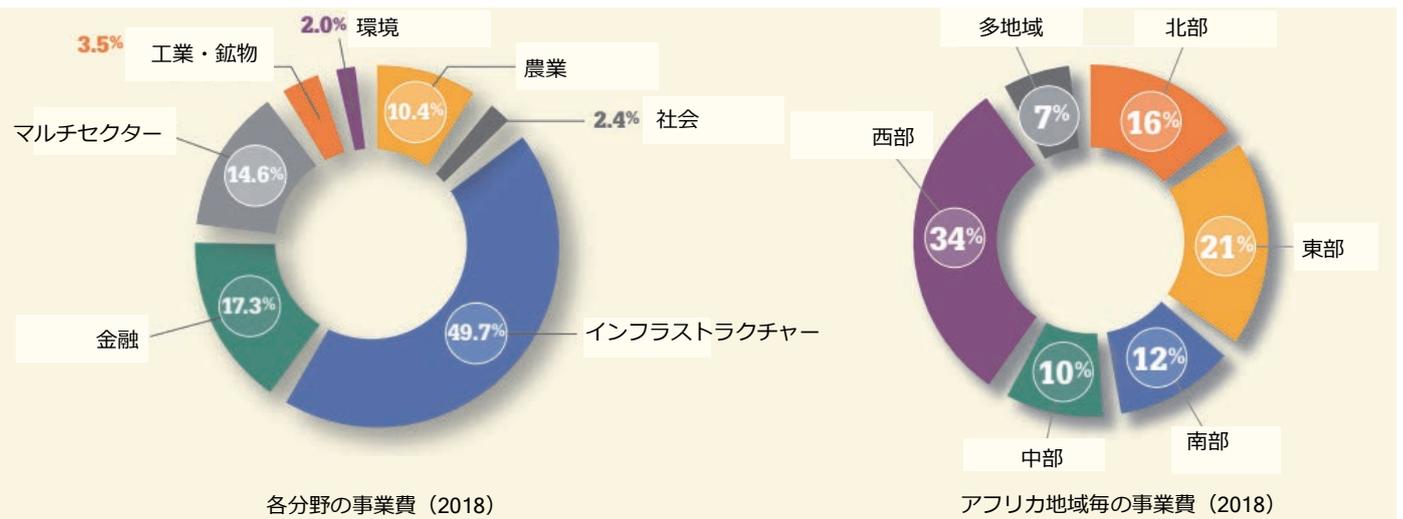
アフリカ開発銀行は2013年4月「長期戦略2013～2022」を策定しました。この戦略は、アフリカ開発銀行グループを変革の中心に据え、アフリカにおける成長の質を改善していくことを目的としています。

この10か年戦略をもとに、2015年9月、アデシナ総裁は、新たな方針を打ち出しました。その方針とは、①アフリカの電化、②食糧増産、③工業化、④地域統合、⑤生活の質の向上の5つの分野をアフリカ開発銀行が最優先に開発を進めていく分野とするもので、これを「High 5s」(ハイ・ファイブズ)と呼びます。



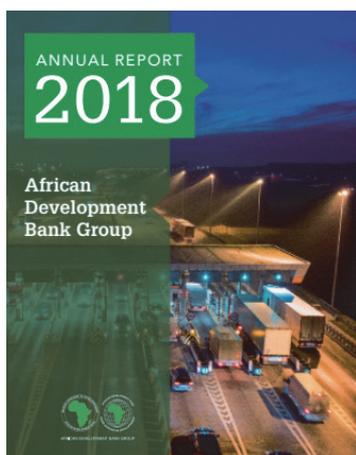
2018年の私たちの活動について

2018年には総計101億米ドル(約1兆1千億円)にのぼる341の事業が承認されました。下図は2018年に承認された事業費の配分を分野とアフリカ域内ごとに示しています。インフラストラクチャーの内訳としては、運輸・交通(22.4%)、電力・エネルギー(17.3%)、水・衛生(9.5%)、通信(0.5%)がそれぞれ占めています。また、国別の事業費では、セネガル(8.8%)、モロッコ(8.7%)、ナイジェリア(5.5%)、南アフリカ(5.3%)、エジプト(4.9%)が上位を占めました。

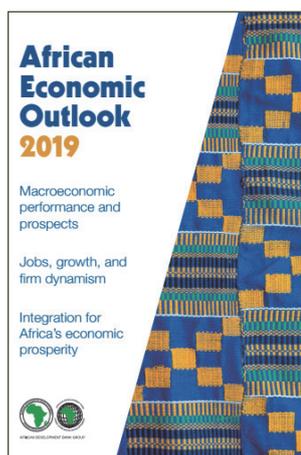


出版物

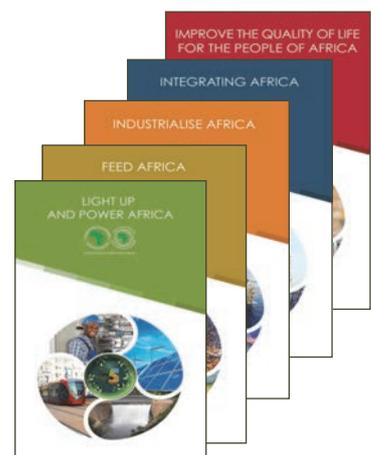
アフリカ開発銀行では、年次報告書やアフリカ経済見通し、High 5sパンフレットなどの様々な文書を出版し、アフリカ開発銀行の活動報告や、ナレッジの発信を行っています。



アフリカ開発銀行年次報告書



アフリカ経済見通し



High 5s パンフレット

アフリカ開発銀行グループの取り組み

High 5s分野における私たちの成果について

(2016年から2018年までの3年間の成果)

アフリカの電化



- 57万人（うち、26万1千人は女性）が新しく電力へのアクセスを得る
- 2,430kmの配電網が新規敷設・改修される
- 480kmの送電線が新規敷設・改修される
- 447MW（うち、197MWは再生可能エネルギー）の発電容量が新規導入される
- 71万9千トンの二酸化炭素削減効果



風力発電所（カーボベルデ）

食糧増産



- 1,900万人（うち、930万人は女性）が農業改良による利益を受ける
- 3,400kmの農業用小規模道路が新規敷設・改修される
- 1,700トンの農業向け投入資本が提供される
- 10万人が近代的な農業技術を使用する



乾燥に強い農作物（南スーダン）

工業化



- 1,021kmの道路（うち、695kmは低所得国にある道路）が建設、改修、維持される
- 120万人（うち、60万人は女性）が投資事業から恩恵を受ける
- 15万4千の個人事業主・中小企業が金融サービスへのアクセスを得る



セメント工場（コンゴ民主共和国）

地域統合



- 390kmの国境を越える道路が建設・改修される
- 1,400万人が改善された運輸サービスへのアクセスを得る



国境道路を結ぶ橋（ガンビア）

生活の質向上



- 27万人（うち、12万人は女性）が改善された教育へのアクセスを得る
- 17万8千人（うち、8万9千人は女性）が研修を受ける
- 120万（うち、半分は女性）の直接雇用が生まれる
- 820万人（うち、半分は女性）が新規・改善された水・衛生へのアクセスを得る



高等教育（マラウイ）

アフリカ・インベストメント・フォーラムについて



(ウェブサイト : africainvestmentforum.com)

アフリカ開発銀行では、アフリカにおける膨大なインフラ需要に鑑み、2018年にアフリカ・インベストメント・フォーラム (AIF) というプラットフォームを立ち上げました。AIFは、アフリカ内外の多様なステークホルダーが集う分野横断的なプラットフォームであり、プロジェクトをバンカブルな段階まで発展させること、資金・資本を調達すること、ディールのクローズに向けて加速させることなどを行う、革新的な取り組みです。

フォーラムの成果

第1回目のフォーラムは、2018年11月に南アフリカ・ヨハネスブルグにおいて開催され、アフリカ域内外の開発金融機関、投資家、民間企業、政府機関など1,914人が参加しました。総額470億米ドルにのぼる様々な投資案件について議論され、計49案件で総額387億米ドルの投資意欲が確認されました。

具体的成果の事例としては、アクラ・スカイトレイン・プロジェクトに係るガーナ・南ア間の覚書 (26億米ドル) が、ガーナのナナ・アクフォ＝アド大統領の臨席の下に署名されたことに加え、キガリ・イノベーションシティや、キンシャサ・ブラザビルを結ぶ鉄道・道路橋の建設計画に関わる協力文書の締結・署名が行われました。



アジアでのアフリカ開発銀行グループ

アジア代表事務所について

アフリカ開発銀行グループは2012年10月に、アフリカ域外では初となるアジア代表事務所（Asia External Representation Office）を東京に開設しました。アフリカ開発銀行のアジア地域のメンバー国である中国、インド、日本、韓国の四か国を担当しています。

アジア地域事務所では、メンバー国政府との連絡・連携などのリエゾン業務、アフリカ地域情報の発信や普及、対アフリカビジネスの振興と拡大、各種団体とのパートナーシップの振興などをその業務としております。



アフリカ開発銀行と日本との関係について

AfDB

- 1983年2月加盟
- 出資比率：5.554%（第4位）
- 引受資本：49.97億米ドル

ADF

- 1973年6月加盟
- 累計拠出額：41.43億米ドル（第2位）
- ADF-14への拠出額：3.26億米ドル（第5位）

（2018年12月時点）



アデシナ総裁と麻生副総理兼財務大臣（日本のAfDB総務）
（2018年9月撮影）

日本政府は、1994年に信託基金「開発政策・人材育成基金」（PHRDG：Policy and Human Resources Development Grant）を設置し、アフリカの人材育成やガバナンスの改善を支援してきました。また、日本政府とのパートナーシップの下で構想された「アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアチブ」（EPISA：Enhanced Private Sector Assistance）は、2005年に開始し2018年12月までに3次に渡り50億ドル以上の拠出が合意されています。同イニシアチブの下、2005年には「アフリカの民間セクター支援のための信託基金」（FAPA：Fund for African Private Sector Assistance）が設置され、アフリカの民間セクター開発のための技術協力が実施されています。

アジアのパートナーとの対話



2016年TICAD6での第3次EPSA発表



在京アフリカ外交団とのネットワーキング

アジア代表事務所は、パートナーシップ強化のための活動を推進しています。国際協力機構（JICA）とは、2005年に設立されたEPSAイニシアティブの下、ソブリン向け協調融資と、JICAからAfDBへの円借款を通じたAfDBのノンソブリン事業が実施されています。また、2009年には国際協力銀行（JBIC）と、2016年には日本貿易振興機構（JETRO）と、それぞれ協力関係強化や業務協力に関する覚書を締結しています。

ビジネスと投資の促進



第2回日本-アフリカビジネスフォーラム（2017年7月）



投資機会セミナー（2019年2月開催）

アジア代表事務所は、アジアからアフリカへのビジネス進出や投資を促進するためのワークショップを定期的に行っており、一例として、2017年7月に、アフリカ開発銀行は在京アフリカ外交団と共催にて第2回日本-アフリカビジネスフォーラムを開催しました。「アフリカの投資とビジネス機会」をテーマに扱った本フォーラムでは、ライブ配信視聴の約400名を含む延べ約1,500名が参加しました。また、日・アフリカ企業間で90社が参加し、118のビジネスマッチングが行われました。

知識の普及と情報交換



(ウェブサイト : <https://afdb-org.jp/snar>)



(ウェブサイト : ab-network.jp)

アジア代表事務所のウェブサイトでは、日本向けコンテンツを提供しており、各種セミナーや講演会、リクルート関連情報、また、アフリカビジネス振興のための様々な情報を掲載しております。また、アジア代表事務所は、情報ポータルサイト「アフリカビジネス振興サポートネットワーク」(AB-NET)の事務局を務めています。同AB-NETでは、官民30以上の機関・団体がアフリカビジネスの情報提供を行っています。



オルカリアII地熱発電事業（ケニア）

アフリカ開発銀行グループ本部
所在地 コートジボワール アビジャン
African Development Bank Group
Avenue Joseph Anoma
01 B.P. 1387 Abidjan 01, Côte d'Ivoire
Tel : +225 2026 1020
Fax: +225 2021 3100
Website: www.afdb.org
Facebook: www.facebook.com/AfDBGroup/
Twitter: twitter.com/AfDB_Group

アフリカ開発銀行 アジア代表事務所
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-7
日比谷U-1ビル7階
Tel : 03 4589 8721
Fax: 03 4589 8725
E-mail: tokyo.info@afdb.org
URL: www.afdb-org.jp (日本語)
www.afdb-org.kr (韓国語)
www.afdb-org.cn (中国語)